

## ②5 野依教授ノーベル化学賞受賞 記念樹・記念碑と記念施設

2001年12月、本学理学研究科の野依良治教授（現・独立行政法人理化学研究所理事長）が、米国のウィリアム S. ノウルズ氏、K パリー・シャープレス氏とともに、ノーベル化学賞を受賞したことは記憶に新しいことだと思います。野依氏の受賞がノーベル賞創設100周年という記念すべき年の受賞でもあったことは、本学のみならず日本にとっても非常に喜ばしいことであったといえるでしょう。

本学博物館の前庭には、野依氏のノーベル賞受賞を記念した記念樹と記念碑があります。その記念樹はアスナロ（翌檜）で、「学生がいつか野依教授のようになろうと夢を持ってほしい」との願いが込められています。また、スウェーデン産の御影石で作られた記念碑には、受賞の理由となった不斉触媒「BINAP」のモデル図とともに、野依氏直筆の「研究は瑞々しく、単純明快に」という文字が刻まれています。その記念植樹と記念碑除幕式は、2001年12月28日に行われました。

なお、現在、本学東山キャンパスには、野依氏のノーベル賞受賞にちなんだ二つの記念施設も建設されています。一つは「野依記念物質科学研究館」（本号掲載記事参照）、もう一つは「野依記念学术交流館」と命名されています。



ノーベル化学賞賞状



記念碑



東山キャンパス



東山キャンパス

名古屋大学の歴史に関する記念碑・記念物等に関する情報をお持ちでしたら、  
大学文書資料室（052-789-2046、[nua\\_office@cc.nagoya-u.ac.jp](mailto:nua_office@cc.nagoya-u.ac.jp)）へご連絡下さい。